

## 宇部市立中学校の新たなスポーツ・文化活動体制整備協議会 概要

1 日 時 令和5年7月6日(木) 10:00~12:00

2 場 所 宇部市役所 第2委員会室

3 概 要

### 会長(司会)

「地域クラブ活動の手引き」について事務局からお願いします。

### 会員3(市長部局)

これから、この協議会にて、「地域クラブ活動の手引き」の各項目、必要な要件、方針を協議して完成させていきます。また、生徒と保護者と共有する必要があるとも思っています。

まずは、地域クラブとして認定する要件について協議したいと考えています。

### 会員1

認定要件には、地域クラブで活動する中学生が高校進学後に競技を続ける場合、指導者同士が話し合うためのルール等を明示する必要もあるのではないのでしょうか。

### 会員4

市が認定しない地域クラブもあるのでしょいか。

### 会員3(市長部局)

市への登録を希望しないクラブもあります。ただし、その場合は市からの補助は出ません。

たとえば、地域クラブが市の認定を希望しても、認定要件を満たさないクラブなら市は認定しません。

○「地域クラブ活動の手引き」の『地域クラブ活動の要件』にある《公認スポーツ・文化芸術指導者資格を有している、または市が基準として示す指導者研修会等を受講した指導者が携わっていること》について

### 会員5

地域クラブの指導者になるために、コーチライセンスが必要でしょうか。それとも、宇部市独自でコーチを認定するのでしょうか。

### 会員3(市長部局)

宇部市がコーチを認定するにしても、当面は、国と同等のレベルの研修を受けていただくようになると思います。ただし、「指導者は資格を有している者に限る」を認定要件とすると、指導者の確保が難しくなります。そのため、講習を受けていただくことでそれに代えるようにしたいです。ただし、資格取得が必要な種目はあります。また、資格の取得や更新には費用がかかります。市がどこまで支援するのかについては議論の必要があります。生徒から集める謝金をその費用に充てるのが、他の市では通例です。

### 会員6

地域クラブを立ち上げる前に、地域への説明が必要だと思います。

### 会員3(市長部局)

それぞれの地域クラブが説明などを統一してできるようにする必要があります。加えて、保護者への説明が必要です。学校の部活が無くなることを聞くと、保護者が不安になるでしょう。

○「地域クラブ活動の手引き」の『地域クラブ活動の要件』にある《学校部活動の全部、または一部を引き受ける団体であること》について

#### **会員 4**

これから、地域移行が進むと、地域クラブが、学校部活動の活動をすべて引き受ける場合と、一部だけ引き受けて、残りは学校が受け持つということが起こるのではないのでしょうか。

#### **会員 3**

地域クラブにない部活動は、しばらくは学校側が引き受けないといけないと思います。

#### **会員 3**

平日・休日も種目も全部引き受けることができる総合型スポーツクラブや、一部の種目のみ引き受ける地域クラブがあると思います。

#### **会員 7**

認定要件の文言は、変更される可能性があることを明記しておいた方が良いですね。

#### **司会**

認定要件の表記の仕方には工夫が必要ですね。

○「地域クラブ活動の手引き」の『中学生期におけるスポーツ・文化活動の方針』について

#### **司会**

「地域クラブ活動の手引き」の『中学生期におけるスポーツ・文化活動の方針』は県の方針を参考にしましたか。

#### **会員 3（市長部局）**

県の方針は長文で書かれていたが、参考にして作成しました。

#### **司会**

シンプルな方がいいですね。

#### **会員 3（市長部局）**

「地域クラブの手引き」の『地域クラブを開始するまでの流れ』については、保護者が、地域クラブを設立する目的を理解することが必要だと考えています。特に、指導者主導でつくるクラブと行政主導のクラブの設立については、保護者の理解がより一層必要になります。

#### **司会**

すべて指導者主体で地域クラブをつくることはできません。行政主導も必要になります。

#### **会員 3 [市長部局]**

3年後にすべての部活動が地域移行になるのは難しいです。

#### **会員 1**

地域クラブで指導をしたいという教員はいますが、地域クラブの立ち上げから運営まで考えている人は少ないと思います。

#### **会員 3 [市長部局]**

スポーツ少年団の指導者から、卒団した中学生を指導したいがどう手続きしたらよいかわからない、場所や道具はどうすればいいのか、という相談を受けます。やりたいけど手が上がらない状況があるのではないのでしょうか。

## 会員 10

地域クラブへの移行に向けたスケジュールはどうなっていますか。

## 会員 3 (市長部局)

スケジュールとしては、全市一斉に移行させるのか、環境が整ったところからスタートさせるか、ということになります。

## 会員 1

一斉は難しいのではないのでしょうか。できるところから始めてほしいです。宇部市中体連が主催する選手権大会に負けたチームは6月に引退します。引退した3年生をプレーさせるクラブチームがあれば、そのクラブチームを地域クラブとする方法はどうでしょうか。

## 会員 3 (市長部局)

部員がクラブに行ってしまうと、指導をやりたい先生はさみしくなります。やるならば、先生と一緒にやりたいという人のご意見もいただいています。先生方を巻き込みたいと思います。

## 会員 1

モデルケースが必要では。サポートしてモデルケースを作り上げたらどうでしょう。

## 会員 10

〇〇市では剣道が地域クラブに移行することになりました。宇部市も、令和5・6・7年ぐらいで「0からつくるモデルケース」をつくとよいのではないのでしょうか。8年からどんどん進めていき、10年に完全実施をめざすと良いと思います。学校の教員は8年から部活動をしなくてよいと思っている人もいます。できないところはモデルケースを参考につくれば良いと思います。現在は、大会運営に教員が関わっているが、いずれは離れるようにしていきたい。

## 会員 4

協会側がいずれは運営等も引き受けるようになると思います。

## 会員 2

柔道、剣道から始めてよいのでは。柔道教室は〇〇中のクラブチームでできそうです。剣道、市内のスポ少は減っていますが、指導者はやりたいと思っています。若い教員も、地域移行になっても指導を続けたいと思っている人がいます。

## 会員 2

部活動からクラブチームをつくる動きがあります。

□□中のバレーは保護者主導でつくりたいと考えています。△△中のソフトテニスも同様に保護者主導でつくることのできるのではないのでしょうか。しかし、自分の子どもが部活動に所属している期間だけクラブチームを運営することを考えているかもしれません。そうなれば、持続可能な形ではありません。しかし、不安があっても前に進めた方が良いと思います。できるところから始めたほうが良いです。条件さえ整えばやりたいと思っている教員がいることに期待しています。やりたい教員とは、ヒアリングをして意思確認をしています。一番高いハードルは吹奏楽部ではないのでしょうか。

## 会員 4

クラブチーム化する際に、保護者への説明は誰がするようになるのでしょうか。

## 会員 10

クラブチームが説明する前に、推進協議会などが説明をする必要があります。その後に、クラブチームの代表者が説明すると良いと思います。

## 会員 3 (市長部局)

学校の先生ですべてはできません。地域クラブを運営する団体が中心になって説明をする必要があります。そのためには、まずは宇部市が運営団体になり、説明は運営団体、登録クラブ、そして学校がすべきだと思います。

## 司会

時間の関係で、次回にご意見をいただきたい。持ち越したい。

## ○宇部市を4つのブロックに分けて、ブロックごとに地域クラブを設置することについて

### 会員 3 (市長部局)

地域クラブを設置する拠点をブロックで分けました。直径4kmの自転車を使って15分で移動できるブロックを東西南北に割り当てて考えています。

## 司会

宇部市の拠点型を示していただいた。

## 会員 1

基本的なエリアとしてとらえたい。種目によっては、2つのエリアに一つの種目というのものもあるでしょう。

### 会員 3 (市長部局)

○○中、□□中を一つのエリアの中に入れ、1種目につき1地域クラブしか設置しなければ、人数が多くて、試合に出られない生徒が増えるのではないのでしょうか。

## 会員 1

エリア外の地域クラブに入ることも考えないといけませんね。

### 会員 3 (市長部局)

市外の地域クラブに入ることも考えないといけません。

## 会員 9

エリアはあくまでも目安として考えるべきです。指導者の希望が多ければ、市が指導者と地域クラブをマッチングしていくようになると思います。

### 会員 3 (市長部局)

指導者になりたい人が出るのは良いのですが、勝利至上主義の地域クラブができるのはどうでしょうか。

## 会員 5

10年後、少子化で活動できない地域クラブがあると思います。柔軟に地域クラブ化していくことが大切ではないのでしょうか。できるところからやっていければと思います。

## 司会

エリアを基本として、種目、人数にもとづいて柔軟に地域クラブを設置していただくことになります。例えば、総合型地域スポーツが地域クラブを設立したら、そのエリアにある△△中、■■中のその種目の生徒が入ることになります。

## 会員 1

わざわざ移動して、さらに会費も発生します。移動したいと思わないのではないのでしょうか。

## 会員 5

しかし、このような動きは全国的に起こっていることです。行政がしっかり方針を説明して、地域クラブ移行を進めていくことが必要です。納得していただく必要があります。保護者に理解を求めたいですね。

## 会員 3

地域クラブ移行する際には、その種目の学校部活動の生徒募集停止を1年前に宣言した方が良いと思います。小学校にも言うておかないといけません。4年生、5年生に説明が必要です。

## 会員 2

●●中では、昨年に剣道部は部活停止しますと伝えました。そのことを6年生に伝えましたが、今日の議論を聞いて、5年生、PTA 総会にも伝えることが必要だったと思いました。一番の課題は吹奏楽部です。ふれあいセンターごとに、文化面の部活動はできます。週に1～2回で活動できます。地域との連携で、下校してふれあいセンターに行き週1活動、成果は学校で披露するような形ができます。吹奏楽部については、顧問の先生に夏休みに話を聞きます。顧問の先生は吹奏楽部の地域移行は難しいと思っています。パート練習、楽器の運搬など問題あります。でも吹奏楽部だけ学校部活動でというわけにはいきません。これは難しい課題になっています。子どもたちのために、ベターな形でつくっていきたいと思います。

## 会員 7

コミュニティで吹奏楽部をやっているところはありません。文化面も人材発掘のデータが見えてくれば、方向性が見えてくるのではないのでしょうか。

## 会員 8

コミュニティには楽器がありません。

## 司会

これはゆっくりやらないといけません。事務局は何かありますか。

## 事務局

今後、ホームページを活用して、協議録をのせる予定です。第7回の協議会は8月21日を予定しています。9月から実証事業を実施する関係でこの日を設定しています。報道も入れて協議会できたらと思っています。

## 司会

次回は報道が入ります。開始の10分だけ報道が入ることも考えています。

以上で本協議会を終了します。